

天山

佐賀県 小城市・佐賀市・唐津市・多久市 2025年 9月16日

雨山～天山～東ノ峰 三座チ縦走



広い山頂でマツムシソウがたくさん咲いていた

本日のコース <全行程 3時間55分>

天山上宮登山口 8:35 → 上宮参拝 8:44 → 雨山分岐 9:13 → 雨山 9:27 →
雨山分岐 9:45 → 天山山頂 10:20 → 東ノ峰 10:58 <休憩> 11:20 →
天山山頂 11:38 → 雨山分岐 12:07 → 上宮 12:24 → 天山上宮登山口 12:30

佐賀の天山は花の山と聞いて久しく、ずっと気になっていた。登山を始めて長い時が経つが、近くて遠い山だった。今回はマツムシソウやサイヨウシャジンの咲く季節に登頂。山頂に立つと最初は雲に隠れていた下界も徐々に晴れ渡り、360度眺望を楽しんだ。草原のような山頂で風に吹かれると、とても心地よく、雨山や東ノ峰の山頂も踏んで大満足の一日だった。



天山上宮登山口駐車場 8:20 到着



天山上宮登山口 8:35 スタート



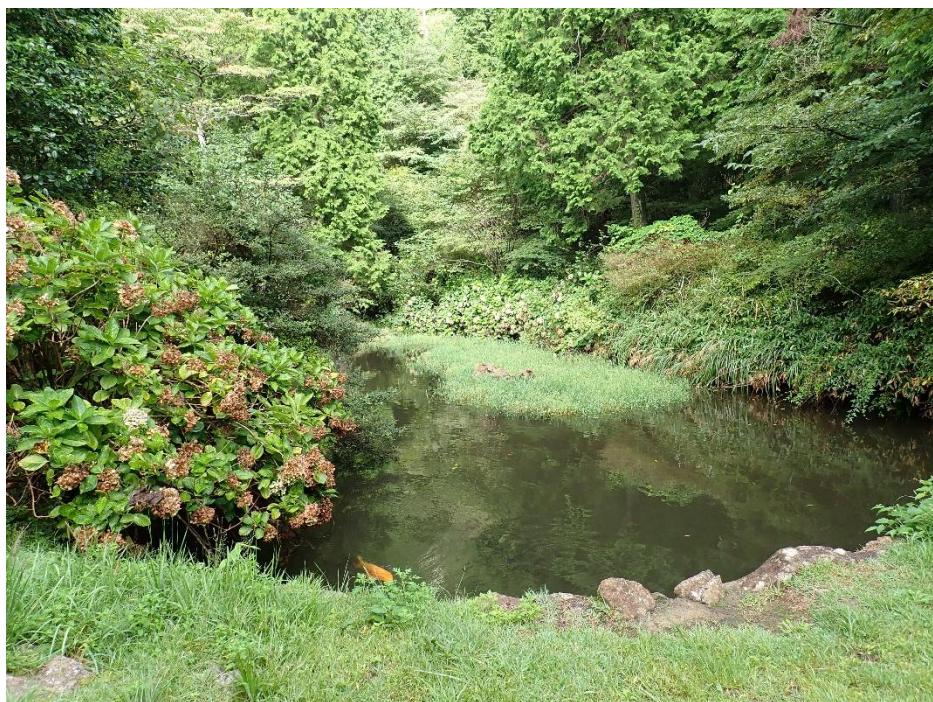
シラヤマギク



背の低い鳥居を潜って天山神社上宮へ寄り道



上宮参拝 8:44 安全登山を願う



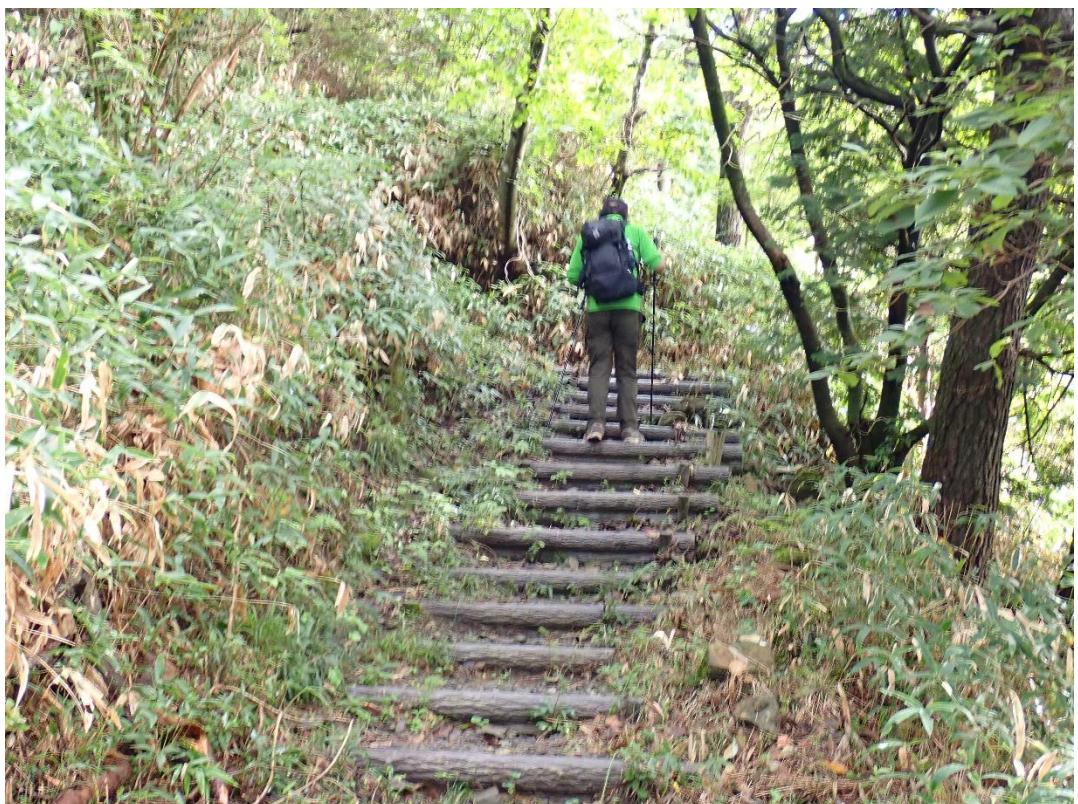
上宮参拝を終えて先に進むと、大きな錦鯉が泳ぐ池があった。



キンミズヒキ



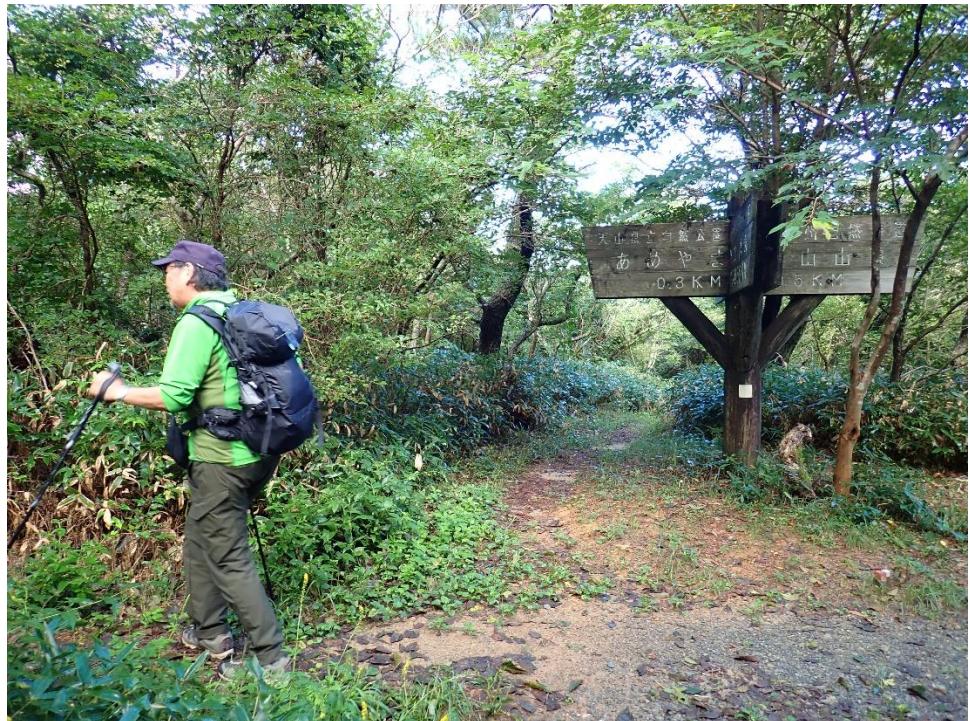
モミジカラマツ？ アキカラマツ？



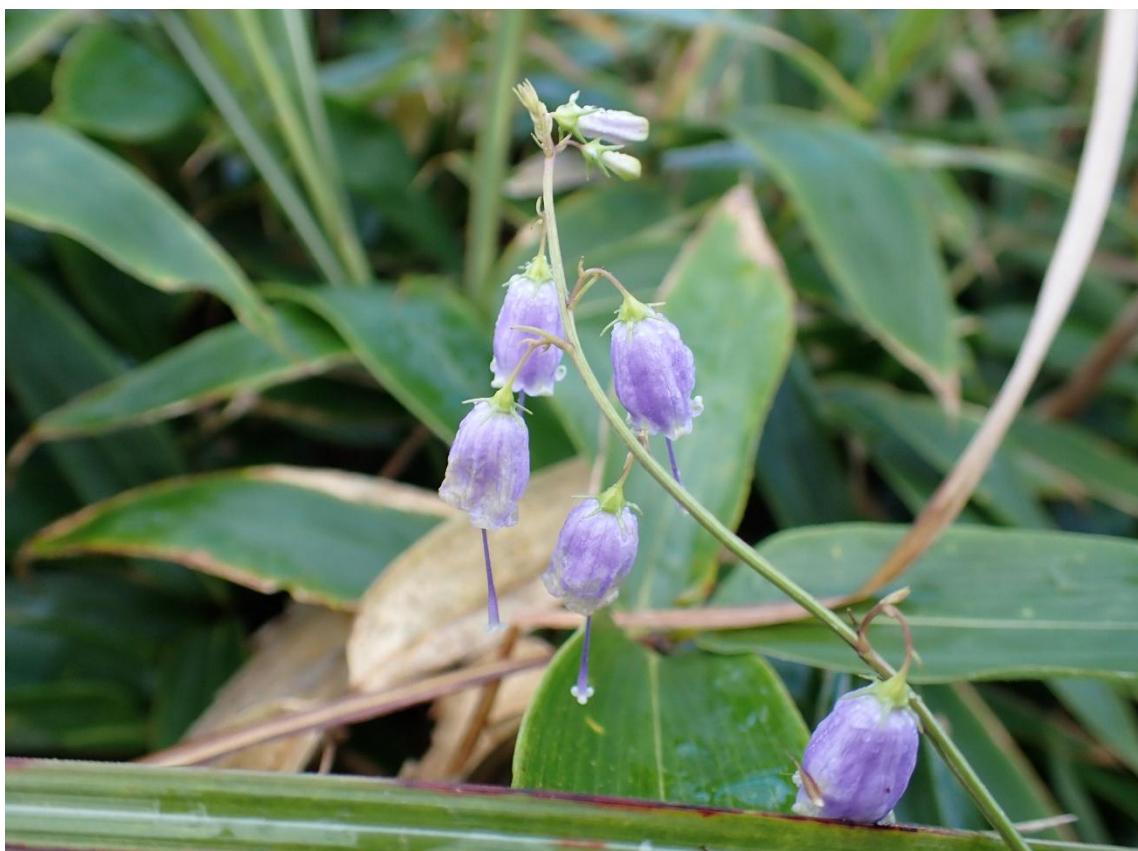
黙々と木段を上る 9:00



アキチョウジ



雨山(あめやま)分岐 9:13 天山は右だが、その前に左に進んで雨山を目指す



サイヨウシャジン



ヒキオコシ？ ナギナタコウジュ？



ヒヨドリバナ？



雨山山頂に近付くと青空が広がった 9:18



オミナエシ



雨山山頂 9:27 振り返ると天山



ついさっきまで真っ白だったのが、雲間に下界がチラチラ見えてきた 9:27



雨山(あめやま)山頂にて記念撮影 9:28



山頂で眺めを楽しんだ後、雨山から正面に見える天山に向かう 9:40



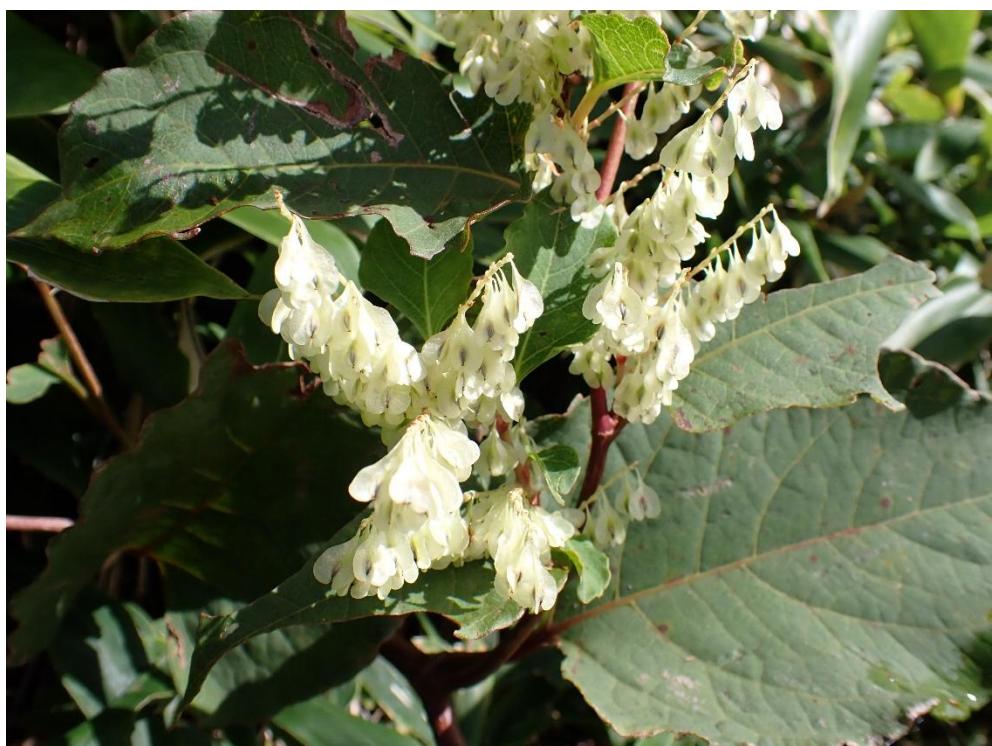
雨山分岐 9:45 直進して天山へ



天山への登山道は九州自然歩道



振り返ると雨山 9:53



イタドリ



青空が広がってきた 10:10 あと少しで山頂だ！



山頂広場に到着 10:19 山頂碑に向って歩く



天山山頂 10:20 景色を眺めながら休憩



天山山頂碑で記念撮影 10:27 1046m
さすが標高1000メートル超えると過ごしやすい



広い山頂広場 10:33 この先にある東ノ峰へ行くことにした



山頂にもオミナエシが一株咲いていた

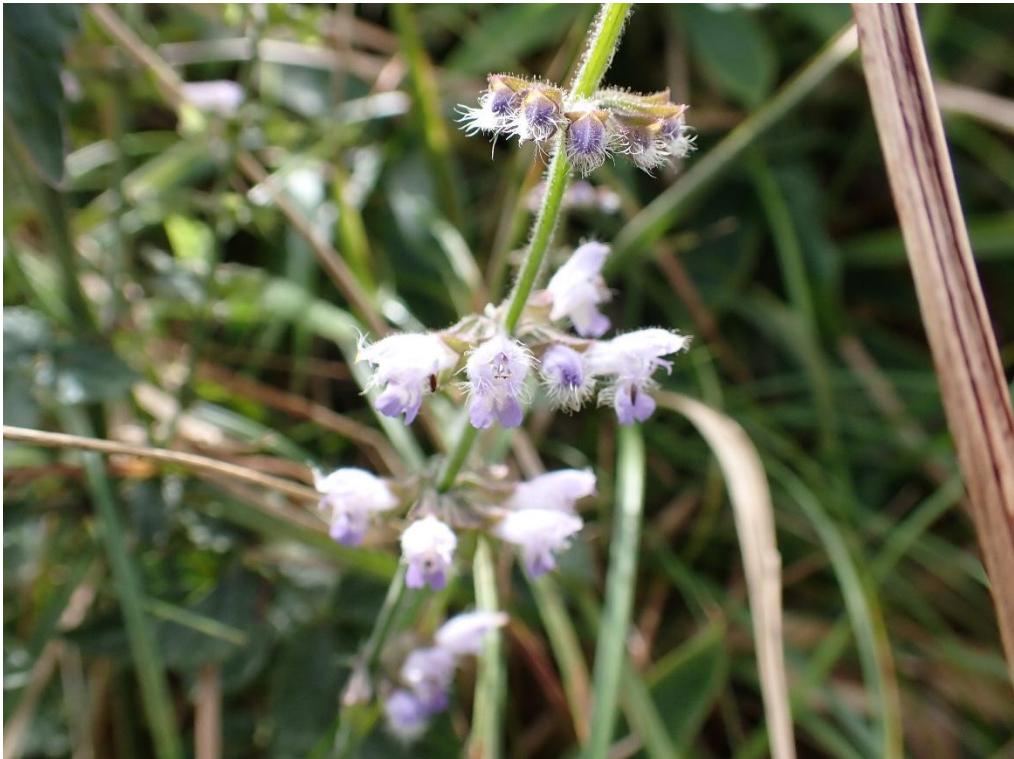


マツムシソウ

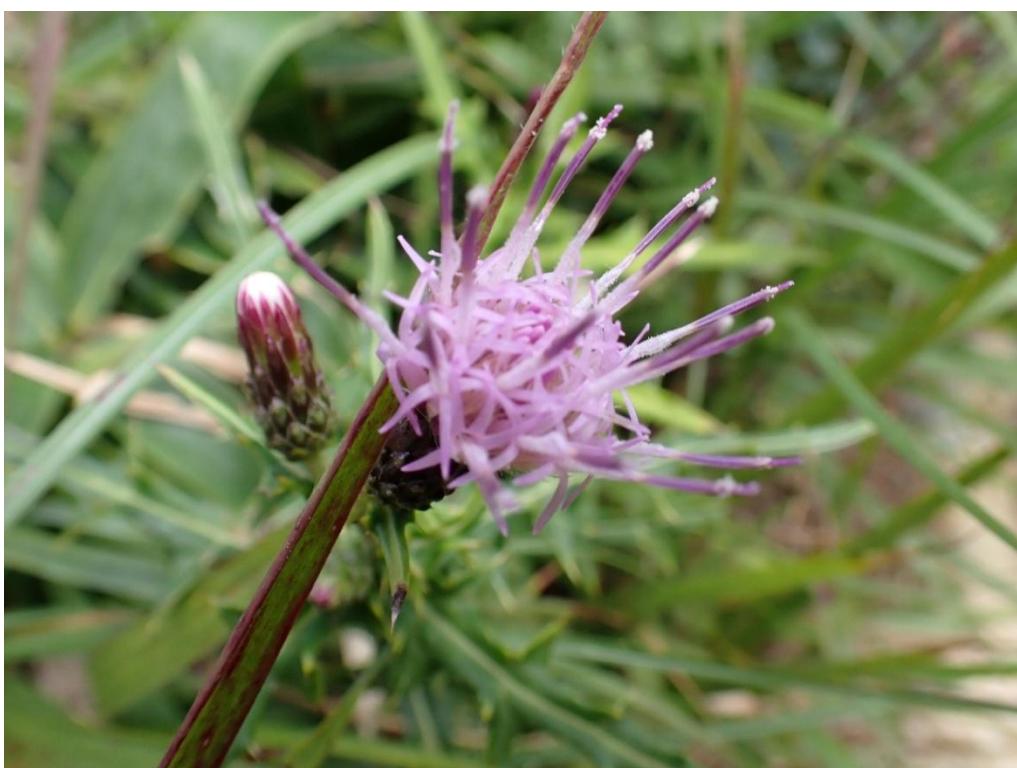


東ノ峰 10:58 ~ <休憩> ~ 11:20
ここで行動食を食べながら、のんびりベンチに座って休憩

休憩後、山野草を探しながら天山山頂へ戻る



アキノタムラソウ



ホクチアザミ？



?



天山山頂に戻ってくると登山者が増えていた 11:38 皆さん山野草観察に余念がない
我々は広い山頂広場をウロウロと探索

山頂碑のすぐ近くにお墓があった



「阿蘇惟直(あそこれなお)の墓」

阿蘇惟直は肥後の阿蘇大宮司で九代当主である。延元元年(建武3年/1336年)建武の新政から離反した足利尊氏は九州へ下った。宮方は阿蘇惟直をはじめ、菊池武敏、蒲池武久、星野家能などが足利尊氏を追討するため多々良が浜で戦ったが、総崩れとなって敗走、阿蘇惟直も深手を負って逃げるも肥前国小城郡天山付近で自害して果てた。

天山山頂にある「阿蘇惟直の墓」は、そのとき住民によって建立されたのが始まりとされ、現在の墓は大正13年に建立されたものである。

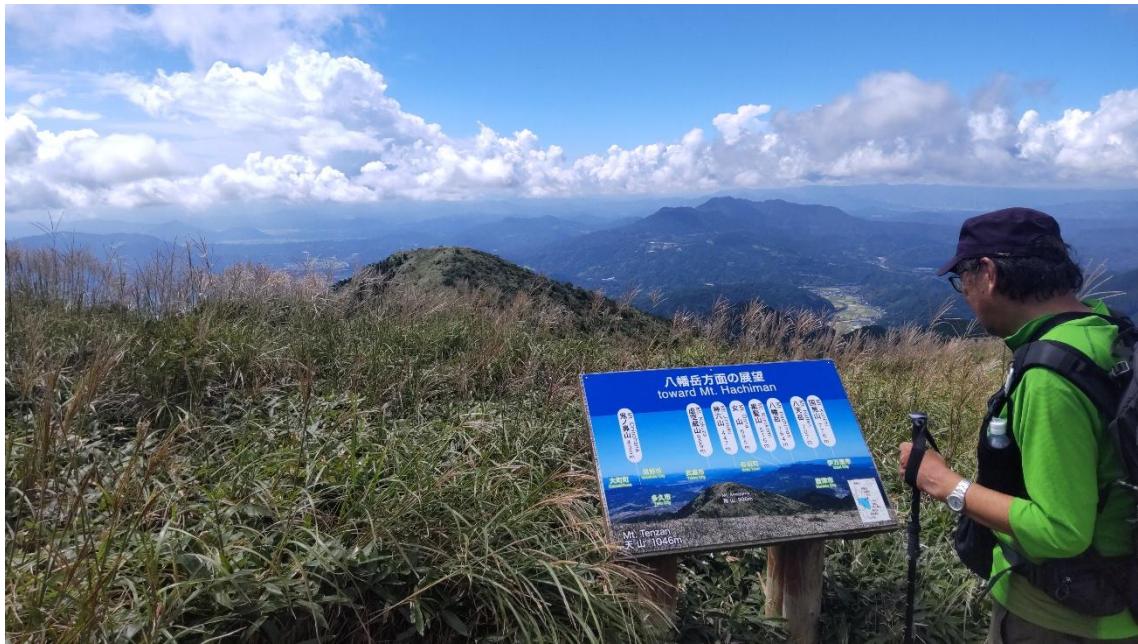
阿蘇惟直の墓のある天山は九州百名山にも選出されており、標高は1046.1mで一等三角点がある。登山道は各方面から付いているが、東の七曲峠から登るルートが登山者用のルートらしく、多くのハイカーが歩いている。(ネット調べ)



天山山頂 11:41 灵峰「天山」の石碑



玄界灘方面の展望



八幡岳方面の展望
広い天山山頂で周囲360度の展望を楽しんだ



雷山方面の展望



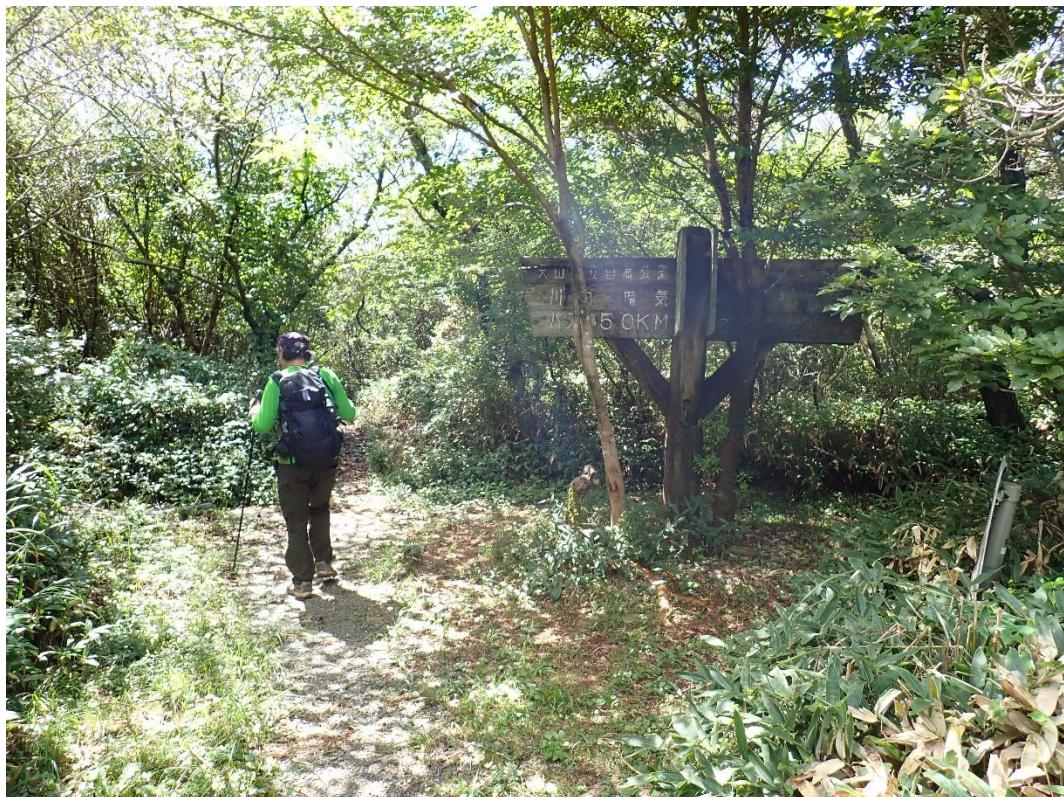
背振山方面の展望(看板が設置されて分かり易い)



休憩後、下山に取り掛かる 11:48



雨山を正面に見ながら下山 11:54



雨山分岐 12:07 左へ



上宮前を通過 12:24



天山上宮登山口 12:30 ゴール
3時間55分の山歩きが終了
スマホの歩数計は9208歩。
T師匠お世話になりました。お疲れさまでした。